

## 第1回「歩きタバコをなくそう！新宿フォーラム」会議録概要

### 1. 開会

### 2. 趣旨説明 (新宿区長 中山弘子)

### 3. 座長・副座長の選出

### 4. テーマの導入説明

#### (1) 歩きタバコ問題の概略(新宿区環境土木部環境保全課長 杉原純)

歩きタバコ問題に対する新宿区の主な施策の流れについてと、他の自治体の動きについて、歩きタバコに対する苦情についてなどを説明。

#### (2) 歩きタバコ対策のポイント(日本たばこ産業株式会社東京支店業務部長 小菅裕司)

歩きタバコ対策の成功事例を紹介し、灰皿をうまく活用することで歩きタバコをなくせることを説明。

### 5. 座長・副座長より、参加のルールについて説明

### 6. 全体討議

【男性1】日本たばこ産業株式会社(以下「JT」という。)に質問する。今月はたばこ会社のクリーン月間で、JTは「人込みの中での歩きタバコはやめましょう」とは言っているが、人ごみの中だけでなく根本的に歩きタバコをなくすように宣伝してほしい。タバコのケースに「歩きタバコ・ポイ捨てはやめましょう」と書いて、歩きタバコをなくしていく姿勢を強く出してほしい。

【JT】6月は環境月間なので、6月4日に全国で清掃キャンペーンを実施するなどそれなりのことはやっている。社会情勢を真摯に受け止め、タイミングを見計らいながら、効果的にやっている。

【女性1】タバコに限らず使い方(公共マナーの悪さ)によって商品そのものが否定されてしまうのが残念。タバコを吸う人同士でもマナーに関しては意識のギャップがあり、人への配慮こそが大切。景観を考えて喫煙場所をつくり灰皿をおしゃれにすることも必要だと思う。

【たばこ組合理事長】たばこを吸う人も吸わない人もお互いにマナーを守って、みんなが共存できる世の中がよいと思う。

【女性2】私は気管支炎が歩きタバコのせいで悪化して困っている。新宿は環境宣言都市だとうたっているが外のマナーはなっていない。千代田区は気持ちがいい。たばこ産業の宣伝は売ることばかりなので、健康に悪いことも宣伝してほしい。新宿区も歩きタバコがだめだということをもっと宣伝してほしい。

【男性2】たばこのポイ捨ては歩いている人だけでなく車に乗っている人もしているし、風で飛んでくるものもある。これらもなんとかしないと効果がない。罰則より、吸殻をもってきたら10円返すというデポジットのような方法をとったらどうか。

- 【男性3】新宿区の状況が一番悪いと思う。千代田区はきれいなので見習ってほしい。私は新宿で路上喫煙のために3回も火傷した。
- 【男性4】議論が混乱しているので、ポイ捨てではなく歩きタバコの問題であるということを通認認識にしてほしい。JTの人は人が集まるから歩きタバコの問題が発生するというが、閑散とした場所でも問題はある。吸う人と吸わない人が対等にマナーを守る問題じゃなくて、吸う人が吸わない人に危害を加えている、加害者と被害者の問題なので、まず被害の事例を出し、対策を話し合うという進め方にすべき。
- 【座長】配布した紙に書いてあるテーマにそった発言をしてほしい。
- 【男性5】JTの企業としてのジレンマは分かる。私は喫煙者だが、渋谷区のやり方はよいと思う。たばこを吸う立場では、灰皿が置いてある所は無意識のうちに喫煙所だと思っている。灰皿をきちんと喫煙場所に置き、そこで吸うというやり方は非常によい。しかし、渋谷区でもまだ歩きタバコがなくなるのを見ると、歩きタバコのマナーは時間をかけてでももっと周知するべきと思う。
- 【座長】新宿区で喫煙所を設置する構想などがあつたら教えてください。
- 【環境保全課長】現在、繁華街に設置している150基余りの灰皿・ゴミ箱を順次撤去し、合計5箇所の喫煙スポットをつくる予定。
- 【学生1】灰皿があるとそこを喫煙所のように思ってしまうので、灰皿撤去に賛成。新宿区では喫煙所を明示しようとしても他の看板が派手なので難しいが、区がこの問題に対応すべきだと思う。
- 【男性6】今は歩きタバコを注意すると逆切れされる。住人がものを言えるまちにしたい。
- 【男性7】歩きタバコは迷惑だけでなく、健康被害があることも訴えるべき。銭湯で健康増進法が守られていないのも問題。
- 【男性8】健康増進法のおかげで飲食店はかなり灰皿をおかなくなった。新宿区も灰皿撤去を進めてほしい。
- 【学生2】今回、初めて区が歩きタバコをなくそうとしていることを知った。まだ周知が足りないのもっとはっきり宣伝すべき。キャンペーンもある程度長期間行って、たまに新宿区に来る人にも分かるようにすべき。
- 【女性3】新宿は本当に汚いまちだと思う。新宿の灰皿撤去はどのように行うのか。
- 【環境保全課長】7月から順次撤去を行うが、具体的な歩きタバコ対策はこのフォーラムを通して考えていく。
- 【女性4】高田馬場の汚さが何とかならないかと思って参加した。歩きタバコを注意したら若者に取り囲まれて威圧され、怖い思いをした。新宿区ではきれいにしないといけないという意識を植えつけるべき。何でも協力する。
- 【男性1】千代田は歩きたばこ対策にどれだけのお金をかけたか。新宿は財政が苦しいのだから税金を使わずに、JTやたばこ商組合が宣伝したり、区民が月に何回か無料で掃除をするなど、行政だけでなく事業者・区民も努力すべき。

- 【男性 9】「他人の健康を害する権利はないはずだ」というポスターを見たことがあるが、このような趣旨をもっとPRすべき。
- 【たばこ組合理事長】たばこ組合は日ごろからマナーの向上に努力している。新宿区でも新宿区ルールで喫煙場所を提供すべき。なぜなら、たばこ税は新宿区にも入っている。
- 【男性 4】たばこ税の収入よりも医療費のマイナスのほうがはるかに大きいという試算が出ている。言葉の使い方にも注意してほしい。例えば、先ほど喫煙者の「権利」と言われたが「権利」ではなくて「自由」が正しいし、歩きタバコは「迷惑」よりも「危険」というべき。
- 【学生 3】区民の声委員会の理念に「健康・安全を確保する」とあるが、健康・安全だけでなく、被害にあうかもしれないという「不安を解消する」ことも大切。不安を取り除く意味でも分煙すべき。
- 【学生 4】先ほど新宿区に 5 箇所の喫煙スポットをつくと聞いたが、少なすぎると思う。数が少ないと歩きタバコをしてしまう。また、まだマナーの認識が進んでいないので徹底すべき。
- 【男性 1】JT に潤沢な宣伝費で徹底してもらいたいのは、喫煙者を甘やかさない教育だ。喫煙者はどれだけ自分が危害を加えているか分からないものなので、それを理解させるような一歩踏み込んだ表現が必要だ。
- 【座長】議論は尽きないが、事務局から時間通りに終わるように言われているので、発言はあと一人にしてください。
- 【男性 10】罰則がないからやめられない人もいると思うし、歩行喫煙禁止を厳しくすればたばこ依存患者を救うことにもなる。
- 【座長】事務局から次回の予定についてどうぞ。
- 【事務局】今回は 7 月 15 日（木）午後 7 時から。テーマは「ルールか マナーか」。早稲田大学の首藤教授とゼミの皆さんに導入の議論を提供していただく。

## 7. 閉会